

# 議会改革の動き

改革に向けた岡山市議会の活動状況を掲載

## 議会の情報発信

平成23年10月27日に、議会改革等推進会議座長から議長へ第2次答申が行われました。

現在は、議会基本条例について、積極的に検討を進めています。

### 【第2次答申の主な内容】

#### ①議会のインターネット中継

必要な機能を厳選し、導入及び維持管理経費を極力抑えた上で、平成24年度のできる限り早い時期に、本会議、委員会ともに生中継及び録画中継を実施すること。中継は、本会議・委員会運営のあり方を踏まえる中で議会の総意を得て行うこと。

#### ②議案に対する賛否の公表

議員の意思表示を明確にし、市民に対し、より開かれた議会とするため、議案に対する議員の賛否を市議会ホームページで公表すること。市議会だよりについては、（以下略）広報紙の目的を十分斟酌し、発行

経費を極力抑え、公表に向けた検討を行うこと。

#### ③本会議への出席状況の公表

市議会ホームページや市議会だよりでの出席状況の公表は、他の議会改革につながる情報発信等の優先度を見極め、課題を整理した上で検討すること。

#### ④市議会だより、市議会ホームページの充実

市民ニーズを踏まえ、上記②、③の内容に加え、質問者全員の質



議会改革等推進会議から議長へ第2次答申

問掲載、質問者の氏名等の表記について併せて検討し、経費を極力抑えながら、充実につながる工夫を絶えず行うこと。

#### ⑤資料の公開

傍聴者に対して、積極的に委員会資料の情報公開を行うため、委員配布と同様の資料の閲覧貸与を行うこと。なお、閲覧方法、閲覧部数については今後の検討課題とする。また、閲覧貸与に当たっては、情報公開条例で保護されている個人情報、法人情報等に十分配慮するとともに、経費を極力抑えること。

—なお、①については、答申後の議会運営委員会で、24年度は本会議のみ実施し、委員会については、引き続き検討する。②～⑤については、今後、議会運営委員会で検討することを決定しました—

# 常任委員会審査から

審査の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載

## 総務委員会

### ■不適正経理に伴う国・県への償還金についての対応方針

**委員** 不適正経理について市の責任、対応方針が決定していないのに、加算金の予算を認めるわけにはいかない。以前から議論してきており、国への返還金、加算金の金額確定にかかわらず、対応方針を早急に決めていく必要がある。タイムスケジュールも含め、どう考えているのか。

**市** これまでの議論は十分認識しており、加算金の返還だけでなく、責任問題と一体的な話になると考えている。現時点で

は、方針を明確に示せる状況にないが、早期に示す必要があると認識しており、平成23年度中を目途に、ある程度の方向性を報告できるよう鋭意努力する。その上で、方針を決定したい。

—市としての責任論の判断、国・県補助返還金に対する最終的な処理、事務処理の改善策等について、本委員会で審議を進めるので、課題を早急に取りまとめ、報告するよう要望した—

### ■外郭団体の個別改革方針

—外郭団体改革を着実に推進していくため、平成20年6月に策定した外郭団体改革方針（総論）を改訂するとともに、この改革

方針の主旨を踏まえた個別改革方針を団体ごとに策定するもの—

**委員** 市の外郭団体は21団体あるが、岡山市土地開発公社等4団体を除く17団体しか、個別改革方針を策定していない。改革方針が策定されていない団体はこのままでいいということか。

**市** 今回の個別改革方針は、どうあるべきかを団体自らで考えるための指針である。17団体については、包括外部監査を踏まえた上で市としての対応を決定し、その個別課題に基づいて個別改革方針を定めた。既に課題が整理されている団体は、個別改革方針を策定していないが、

これらの団体についても共通改革項目で取り組む。

**委員** 本委員会所管の外郭団体について、しかるべきときに状況報告を行い、意見を受けて次年度の経営、取り組みに反映してほしい。

**市** 各団体の決算整理を終えてデータがまとまり次第、報告したい。

## 保健福祉委員会

### ■私立保育園建設費補助金の予算執行凍結解除

ー平成23年9月定例会市議会において、地元合意が得られていない私立保育園1園に対し、「地元の理解を得られるよう努めること」との付帯意見を付し、私立保育園建設費補助金の予算執行を凍結していた。11月の委員会で、当局から事業者の対応を聴取した結果、一部委員から反対意見があったものの、委員の多くが事業者の地元理解への努力が見られるとの結論に達し、賛成多数で予算執行凍結を解除したー

## 環境消防水道委員会

岡山市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定ほか2件の議案が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

## 経済委員会

### ■出石町の備前焼工房を岡山城天守閣内へ移設

ーおかやま備前焼工房で実施している備前焼体験を、平成24年4月から、岡山城天守閣内で実施しようとするものー

**委員** 移設後の工房の収支見通しは。運営への無償スタッフの

参画は考えられないか。

**市** 体験者数の増加による収入増が見込まれる一方、スタッフの増員による人件費の増加が見込まれる。人件費をいかに抑え、収支が合うようにするかが一番の課題と認識しており、体験者の中から運営に参画してくれる方を発掘するなど考えたい。

また、指定管理者の社団法人おかやま観光コンベンション協会の自主努力も含め検討したい。

**委員** 工房だけを見れば体験者が増える可能性は大いにあるかもしれないが、出石町も含めた周辺の回遊性など、全体の相乗効果で言えばマイナスではないか。出石地区周辺のまちづくりも含めて、出石町の工房跡をどのようにするつもりなのか。

**市** 全体のまちづくりは、都心創生事業で進めることになるが、にぎわい創出という観点で、出石地区への観光客の回遊性を高めるため、引き続き有効活用したい。地元にも支持される活性化の拠点として具体的な内容を詰め、当初予算に併せて詳細を説明したい。

## 建設委員会

### ■市道路線の認定

**委員** 市道認定基準の見直し作業について、なかなか前進が見られないのではないか。

**市** 問題意識は持っているが、現時点では、現在の市道認定基準に適合している限り、提案していかなければならない。都市計画マスタープランと整合を図りながら、市道認定基準の見直し作業を進め、平成24年2月には新しい基準案を示したい。

### ■コミュニティサイクル社会実験

**委員** コミュニティサイクルの利用促進に関して、何か新しい

啓発活動等の考えはあるのか。

**市** 広報紙への掲載や各種イベントでのPRに取り組んでいる。今後は広報紙特集号に掲載するなど、さらに周知を図りたい。



平成24年3月15日まで実施される社会実験

## 市民文教委員会

### ■市教育委員会の障害者雇用

ー平成22年1月からの3年間に30人の障害者を採用予定とする計画を岡山労働局へ提出していたが、23年6月1日現在までの障害者採用が2.5人とどまっております。計画が適正に実施されていないとして、岡山労働局から適正実施勧告を受けたものー

**委員** どこに問題点があると認識しているのか。

**市** 独自で工夫できる部分が少ないところもあるが、関係機関等との協議にもう少し早く取り組んでいれば若干は数字の改善があったかもしれない。

**委員** 採用試験の広報が少なかったのではないか。

**市** これまでも学校事務職員の障害者対象の採用試験など、周知に取り組んでいるものもあるが、来年度に向け、しっかり周知できるよう努力していきたい。

**委員** 学校施設のバリアフリー化など、ハード面での後押しも必要である。施策を進めるためにはそういった面でも補完が必要なので、しっかりと国へも言っていくべきである。